

## 「第7回食品産業もったいない大賞」 コープデリ連合会が『農林水産省食料産業局長賞』を受賞 ～フードチェーン全体で食品ロス削減を推進～

コープデリ生活協同組合連合会（略称：コープデリ連合会、本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋 敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、フードチェーン全体で食品ロス削減を推進する「もったいないアクション」の取り組みが評価され、「第7回食品産業もったいない大賞（主催：公益財団法人食品等流通合理化促進機構、協賛：農林水産省、後援：環境省・消費者庁）」において、『農林水産省食料産業局長賞』を受賞いたしました。

「食品産業もったいない大賞」は、食品産業の持続可能な発展に向け、環境対策の一環でもある「エネルギー・CO2削減」、「廃棄量削減・再生利用」、「教育・普及（消費者に最も身近な食品を通してこれらの啓発を促す）」等の観点から、顕著な実績を挙げている食品関連事業者並びに食品産業によるこうした取組を促進・支援している企業、団体及び個人を広く表彰し、世の中に周知することで、食品産業全体での地球温暖化・省エネルギー対策及び食品ロス削減等をより一層促進することを目的としています。

なお、2020年2月6日（木）、千代田区立内幸町ホールで開催される「第7回食品産業もったいない大賞」表彰式に副理事長の永井伸二郎が出席いたします。

コープデリグループは、商品の生産・加工・流通・消費の各段階で、産地・物流センター・店舗・組合員家庭と共に食品ロス削減の取り組みを進めて参ります。

### ■「もったいないアクション」の取り組みと実績

#### 【規格外農産物の取扱】

傷やサイズ違いで規格外品となる野菜や果物等、見た目は劣るが味への影響がない農産物を組合員に「訳を伝えて」お得な価格で提供しています。規格外品の取扱は、2018年度は50.5億円でした。

#### 【フードバンク等への寄贈】

物流センター残品のお米や農産品、流通段階での破袋したお米をフードバンクなどに寄贈しています。また、一部の組合員活動施設や店舗に常設のフードドライブボックスを設置しています。商品はフードバンクなどを通じ、生活困窮者、福祉施設、子ども食堂などに提供されています。2018年度は、農産物予備品17t、お米7.6t、フードドライブ6.7tを寄贈いたしました。



店舗に常設のフードドライブボックスを設置

### 【食品廃棄物のリサイクル】

消費・賞味期限切れ商品や調理・加工の際に出る食品残さを、飼料や肥料、魚油、バイオガス等にリサイクル利用しています。（下記ご参照）

食品廃棄物リサイクル率は8割を超えており、2018年度は84.2%に達しています。

食品循環資源の再生利用の実施量(単位はトン)

	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
飼料	1297	1330.9	1319.4	1348.1
肥料	627.5	630.6	570.2	531.5
油脂製品	4.6	4.4	4.5	4.2
メタン	838.8	831.5	763.8	776.3

### 【商品納品期限の延長】

2018年9月から、賞味期間180日以上の商品は1/2ルールで運用しています。納品期限を緩和することで食品ロス削減につなげています。

### 【エコクッキング教室・出前学習会の開催】

家庭内で発生する食品残さを少なくするために、組合員が自主的な活動としてエコクッキング教室や出前学習会を開催しています。組合員活動の食品ロス削減意識の高揚と活発な組合員独自への発展に繋がっています。



小学校での出前学習会



コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。 ※詳しくはこちら<https://sustainability.coopdeli.coop/>

#### 《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13
- 【総事業高】 5,533億円（会員生協計・2018年度）
- 【理事長】 土屋 敏夫（つちや としお）
- 【ホームページ】 <https://www.coopnet.jp/>
- 【組合員数】 504万人（2019年11月20日現在）
- 【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ